



兵庫県立大学COC事業

多自然地域再生系プロジェクトフィールド



連携自治体
養父市
佐用町
兵庫県

プロジェクトフィールドの概要

産業構造の変化と人口減少により存続の危機にある多自然地域の社会。これを持続させていくためには、むら・まちのあり方についての新しいモデルを構築し、地域全体での共通の課題意識と目標を育んでいかねばなりません。

そのために大学が果たすべき役割として、地域課題の学びのプラットフォームを形成し、地域に即した学びの質を向上させます。一つ一つの課題に真摯に向き合いながら、解決のモデルとしての「多自然地域型のむら・まちコンパクトシティ」を具体的なイメージにしていきます。

プロジェクトと地域の関わり

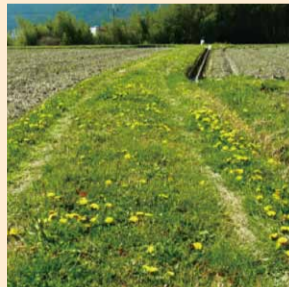
多自然地域には、中心市街地の住み替え需要に対応したコミュニティのあり方や、周辺地域に分散するコミュニティと観光資源をつなぐための手法や、低負荷農業の実現、周辺地域の景観・文化の保全と新たな魅力の創出、公的施設の地域活用を進める新たな基盤づくりなど、解決すべき種々の課題が存在します。地域が一体となってこれらの課題に取り組むために、多様なステークホルダーが参加する地域学習を重ねることが必要と考えます。

プロジェクトの目標

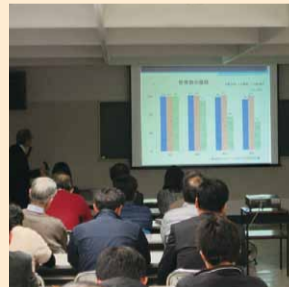
まずは学生が地域行事に参加して地域の現状を知り、次にオープンゼミナールやワークショップにより地域で課題を共有し、住民と共に課題意識を持ってその解決に向けた方法を探っていきます。多段階的な学びの場を設けることで、多様なステークホルダーとの関係づくりとコミュニティの活性化を進め、新しい多自然地域のモデル構築のための環境を整えます。



古写真を活用した
地縁型まちづくりの学びの場(佐用町)



野草による農環境の低負荷管理
(佐用町)



空き家対策に関する
オープンゼミナール(養父市)



閉山後の鉱山の活用の検討
(養父市)